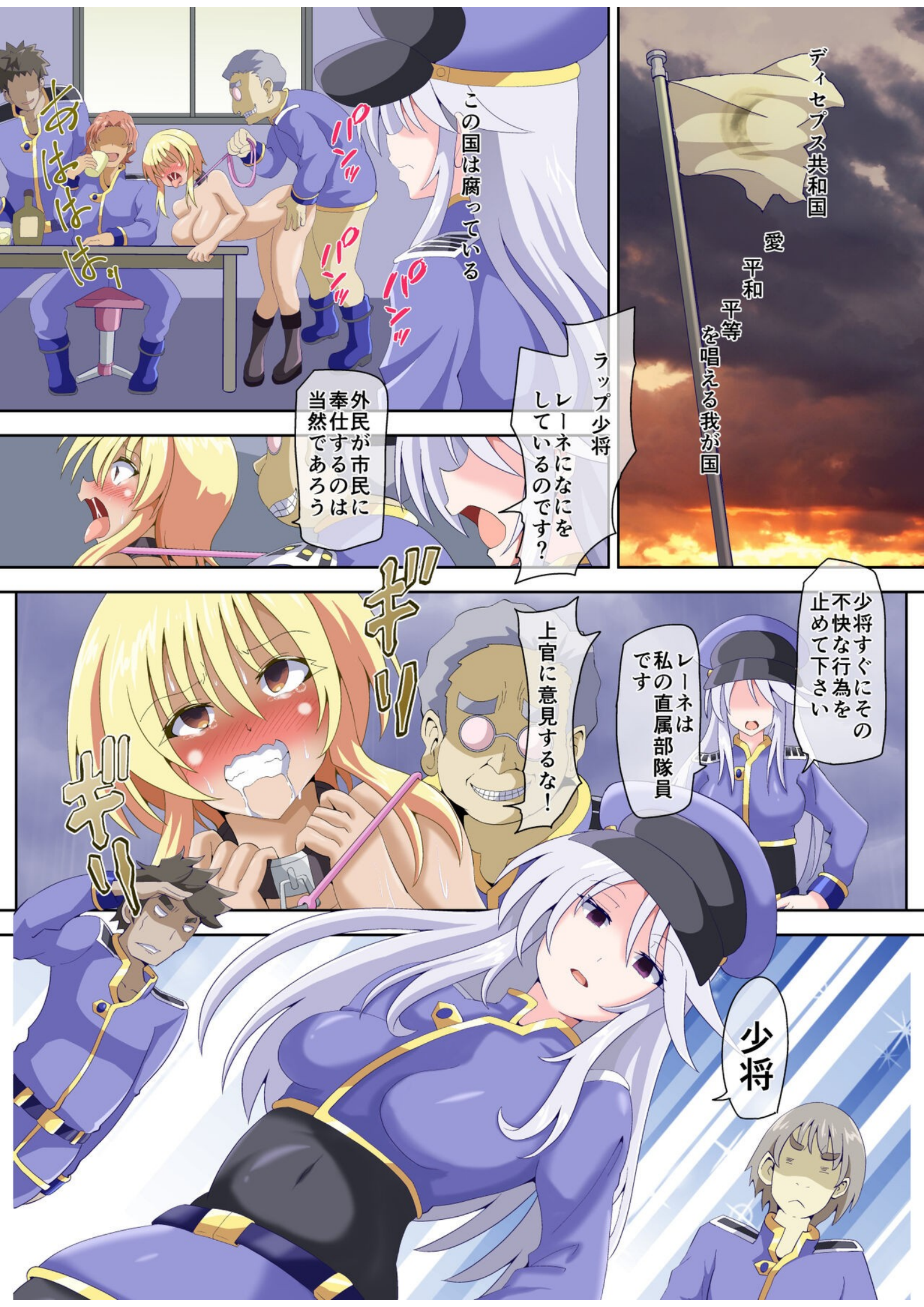

Brain Hack
腐敗国家に抗う革命家の末路

Brain Hack

腐敗国家に抗う革命家の末路


ディセプス共和国
愛
平和
平等
を唱える我が国
この国は腐っている
ラップ少将
レーネになにをしているのです？
外民が市民に奉仕するのは当然であろう
パンッ
パンッ
パンッ
あはは
ギリ
ギリ
少将すぐにその不快な行為を止めて下さい
レーネは私の直属部隊員です
上官に意見するな！
少将


こんな外民など
どうでもいいわ
ドン
さすがは
氷壁のリサ
なにせ
あのハンディ家の
ご令嬢だ
少将も逆らえん
レーネ遅れて
すみませんでした
中佐
裏コード
入手しました
ありがとう
これでこの国を
改革できる
我が国は皆平等だ
ただし外からきた
外民彼らは10年という
奉仕期間を経て
ようやく市民権が
与えられる

だがこの国を腐らせる
要因はそれだけではない

ブレインコトロール

共和国市民は
産まれてすぐ
手術を受け

脳波チップを
脳に移植される

表向きは脳派を計測して
精神状態を国が見守っる
というお題目だが

秘匿された
おぞましい機能がある

裏コード

それを発動された時
強制的に神経や身体の機能を
乗っ取られるのだ

今その裏コードが私の手にある

私はこの腐敗した
国を改革する


一週間前
ズブッ
ズブッ
ズブッ
さっさと吐け！
ゲホッ
ゲホッ
ビクッ
ビクッ
喋ることなんてないよ
中佐はなにも企んでなんかない
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
そうかまた穴を開けて欲しいか？
ギリッ
真偽などどうでもいい
中佐が反乱分子だと告発すればいいのだ
ガッ
卑怯者！


ピアスだけでは足らんようだな
ピシ
バチ
バチ
バチ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
電撃ぐらいで小便アクメとは情けない
ち・中佐はなにも
まったく強情だな
な・なにを
ビクッ
仕方ない脳に直接問うか
くちゅ
くちゅ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
裏コード起動
対象
外民レーネ

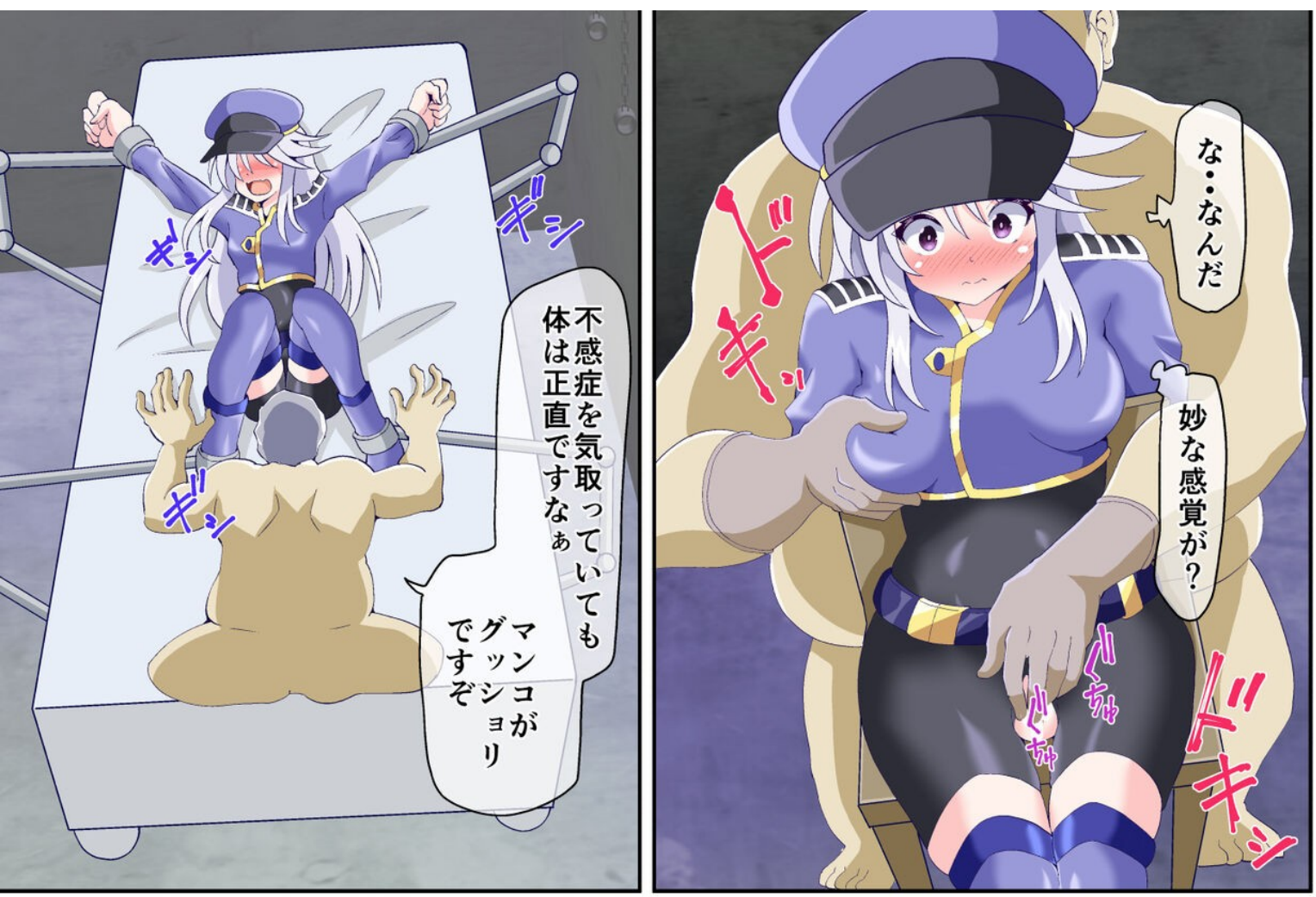

う・・嘘
こんな憎い
デブのチンポが
欲しい
ビクッ
ビクッ
ガシャ
ガシャ
わしのチンポで
なければ
一生イけんぞ
チ・ン・ポ下さい
チンポが欲しければ
証言するのだ
中佐が
反乱分子
だと言え！


ダメ
ダメ
ダメ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
中佐は裏コードを入手して国の改革を志しておられましゅ～
本物の反乱分子だったとは好都合だ
にやっ


裏コードは手に入れた
私はこの国を変える
中佐！
これはどういうことですか？
リサ・セント・ハンディ
貴様が反乱分子だという密告があった
バカバカしい
ラップ少将ともあろう方がそんなデマを信じたのですか？
言い訳は尋問室でして頂こう


ドロォ
少将このバカげた行為になんの意味があるのですか？
無駄なことを
裏コードで感覚遮断したからな
私は何も感じない
中佐は不感症ですかな？
だが・・・こんな下種に弄ばれるのは不快だ
それは怖いですな
私への不当な扱い父が知ったら怒りますね


ですが中佐もいつまで国を欺けますかな？
ぬぷっ
ぬぷっ
なにせ今体に擦り込んでいるのは超強力媚薬
どうせ父様が怖くて私に傷の残るようなことはできまい
今頃私の直属部隊（レーネたち）が異変に気付き父様に報告している
お前は終わりだ
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
処女すら一晩で淫売にしてしまう
ギリ
ギリ


な・なんだ
妙な感覚が？
ドキン
ドキン
くちゅ
くちゅ
ビクン
不感症を気取っていても体は正直ですなぁ
マンコがグッショリですぞ
ギシ
ギシ
ギシ


驚きですね
少将にこんな変態趣味があったとは
父にはしっかり報告させて頂きます
ズブブ
ズブブ
では少しキツく責めますかな
ヌ〜ン
無駄だ感覚遮断してるからな

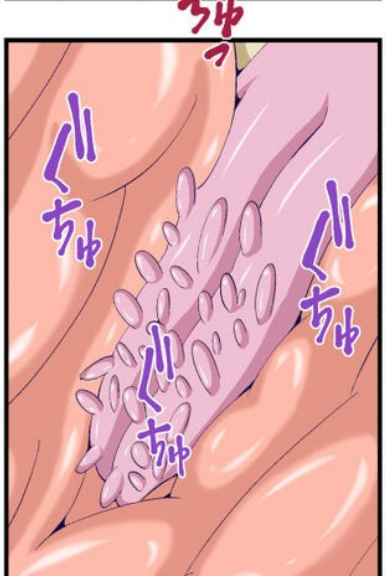

ビクン
おやおや不感症のはずが盛大に潮吹きですか？
中佐
ブシャッ


偶然だ


ぱちゅっ
ぱちゅっ


ぱちゅっ
ぱちゅっ
おかしい裏コードは発動しているのに体が反応する


ビクン
大丈夫だ


ぱちゅっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ


ひぐッ
中佐のかわいい悲鳴が聞けるとは 氷壁も溶けてきましたかな
わるふざけを！
この薬はクリトリス専用の特注品でね
やめろ！これ以上はハンディ家が貴様を許さんぞ
おやおやさきほどまでの余裕がありませんな～


こ・・こんな
ビクン
このようにクリを肥大化させるのです
貴様よくも私の体にこんなことを
人体改造など死刑も免れんぞ少将
即刻首を刎ねる
それは怖い
離せ
ガチャ
離さないか
ガシャ
薬の効果はまだまだここから
ギンッ


イヤ〜ん
ビクッ
やめろぉお
離せ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
死刑台送りだぞ少将
すちゅっ
すちゅっ
肥大化したクリに刺激を与えれば


この通り立派なクリチンポに育つのです
こんなバカげたことが
しかもこのクリチンポは
や・・やめろ
射精もできるのです
おぶぅううッ


中佐　国を私を欺こうなど甘いのですよ
少将！
ピシ
トロオ
本当に死刑に処されたいか！
ビクッ
ビクッ
なぜだ
なぜ
裏コードで防ぎきれない
ビクッ
感覚遮断してるのにまたイかされる
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
すちゅっ
すちゅっ
すちゅっ
すちゅっ
ぷしゃっ


止めろおお
ビュビュ


この機械を止めないと
死刑だぞ少将


ビクッ
ビクッ
ビクッ


もう何百回
強制射精
させられたんだ
機械だから同じペースで
ずっと責め続けられる
私が壊れる
おぐ〜


失敗したら裏コードを
取得したことがバレる
絶対に成功させる
少将
ガチャ


こうなったら
少将の裏コードを掌握
するしかない


今すぐ私を開放しろ


裏コード発動
対象はラップ少将
ん？
ズボッ


やはり裏コードは本物だ
すぐにでもことを起こす
なッ
ようやく尻尾を出したな
ビクッ
貴様が偽の裏コードを使うまで本格的な尋問は上に止められていたのだよ
なにせハンディ家のご令嬢だからなだが反乱分子の証拠は揃った
裏コード起動
対象
リサ・セント・ハンディ


リサ
貴様は反乱を企てたな
カメラの前で証言しろ
はい、裏コードを掌握して下民部隊と共に国の改革を目指しました
そんな口が勝手に喋る
逆らえない
ようやく認めたな
もう貴様は市民ではない
卑しいマゾ豚
もう容赦する必要はない！
まずは感覚遮断を完全に切る
ま・待って
なにもしてないのに絶頂してる
ビュルルルル…♡
ほおぉ♡


今までなんて比じゃない
体が燃えるように熱い
こんな状態でまた責められたら
私死ぬイき殺される
これは凄いなマゾ豚ザーメンの噴水だ


少将こんな
強要された自白が
認められると思うか
父上も私の部隊も
黙ってないぞ
ガシャ
ガシャ
ガシャ
ガシャ
射精しながら脅されても
様になりませんな
では射精しながらのふざけた
自白ではなく
自発的な自白をして頂こうか
真面目な尋問のためにも
一度そのふざけた
射精は止めて頂こう
ぴゅ
な・なにを
尿道に針を
ぶち込む
これで射精できんよ
やめ
ビクッ
ビクッ


くはあああ〜
じゅぽ
じゅぽ
これでいくらクリチンポをしごかれても大好きな射精はムリだな
誰があんな行為を好むか
くっ・・・
ヒクヒク
そうですか？
あひぃいいッ
くぽ
くぽ
くぽ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ズプッ
ズプッ


今度は自分の言葉で
反乱の企てを認めるのだ
もう一度
あのカメラに
向かって証言しろ
卑怯だぞ
こんな所だけ
映像を撮るなんて
あひッ♥
黙れ！
証言するまで
射精も絶頂もお預けだ
反乱分子に
人権などないのだよ
私のようにドブドブと射精
したくてたまらんだろう
ひぎぃッ


認めれば思う存分射精させてやるぞ
ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
う・うるひゃい
時間です電撃を流します
ぬぽっ
ぬぽっ
や・やめろ
あはぁ♡
びくーっ
電撃はもうらめぇえええ


くはあああ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
いくら耐えても
助けなんてないぞ
カメラの前で
認めるのだ
あきらめて自供しろリサ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
バチ
バチ
バチ
時間です電撃を流します
射精がしたいだろ？
クリチンポが破裂寸前で
狂いそうだろ？
ビクッ


バチッ
バチッ
最後のチャンスだ
イき死ぬまで
電撃は止めんぞ
もう無理だ
耐えられない
ビクッ
ビクッ
リサ・セント・ハンディは
国家反乱を企てていました
裏コードを掌握して
国家に立てつく傲慢な
計画を企てていました
これからは心を入れ替え
ラップ様の忠実な
国家奉仕肉便器として
生涯を捧げます
ビクッ
バチッ
ハンディ様
ご息女は
いかがしますか？
我が一族に
反逆者などいない
ガチャ
ラップ少将
そのゴミは
そちらで
処分してくれ
だそうだ
リサ


そんな
父上が見ていた
父上！
私は国のことを
思って動いたのです
この国は
このままでは
リサもうお父上は
席を立たれたよ
くちゅ
くちゅ
まずは忠誠の
チンチンだ
約束だからな
針は抜いてやろう
反しもついていて
激痛だろうが
それもそのうち
快感になる
そんなのイヤだ
イヤ
そんな体が勝手に動く
ブチュウ


リサお前には
散々煮え湯を
飲まされたからな
一カ月ほど躾をしてやる
私に逆らうと
どうなるかまずは
その脳に直接刻んでやる
裏コードなどなくても
わしのチンポを見れば
土下座して媚びへつらう
忠実なマゾ豚奴隷に
してくれるわ


一カ月後
中佐
早くゴールしてくださいよ
ゴールするまでチンポバンド外しませんよ～
射精させませんからね～
今日の輪姦の順番賭けてるんですから
リサラップ様への忠誠の証を復唱せよ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ブーン
リサは生意気にもラップ様を怒らせ不快にさせました
ズコー
反省しています今後はマゾ豚奴隷として精液便所としてご活用くださいませ
はひぃ!
ビュルル

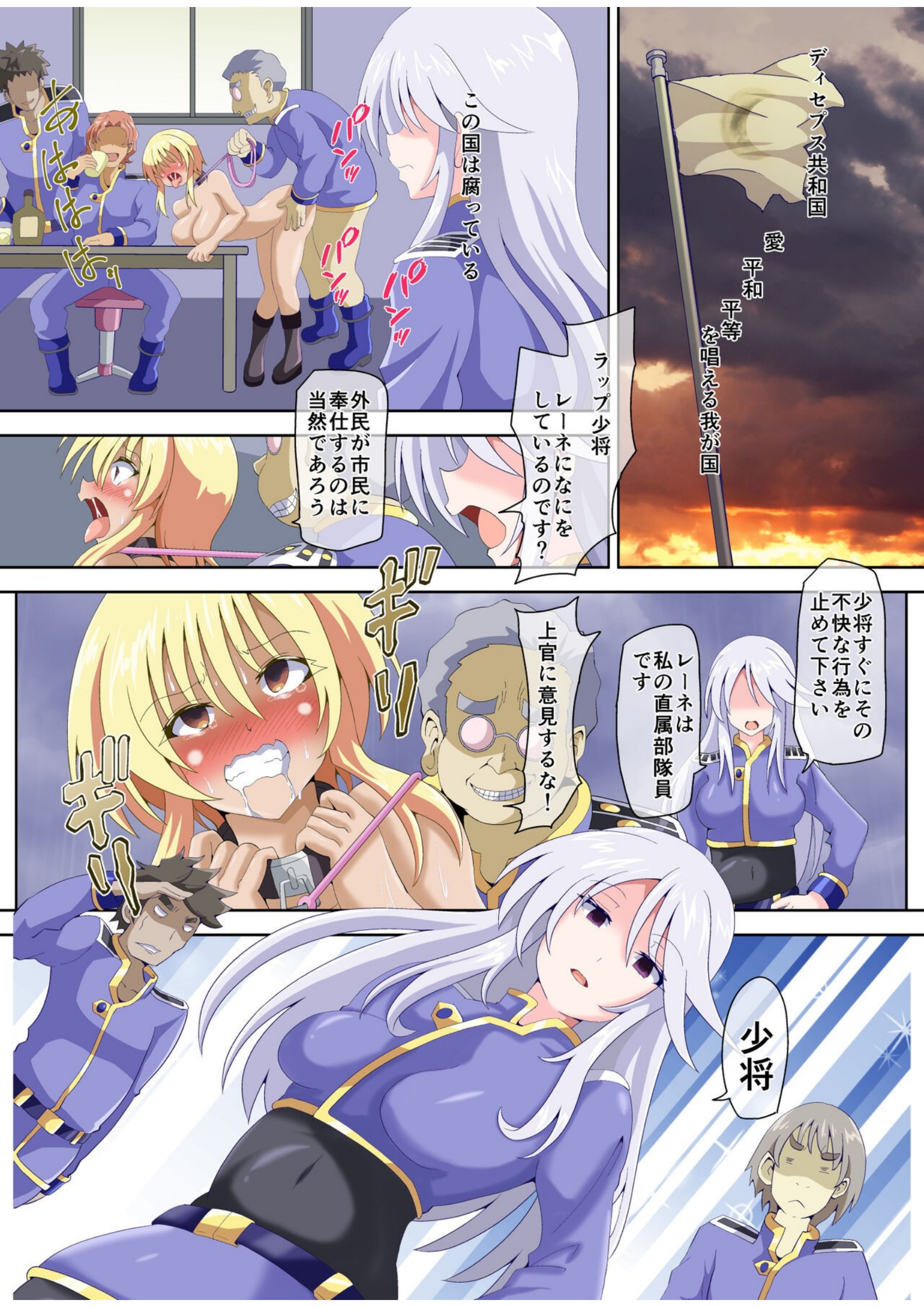

ゴ～ル
じゃあチンポの栓も抜いてあげるね～
ま・待って
いきなりはダメぇえええ
ビクッ
ポロッ
まさかあの氷壁のリサがアホ面晒してアクメしまくるとは
ビクッ
ビクッ
パンッ
パンッ
パンッ
リサは生意気にもラップ様を怒らせ不快にさせました
反省しています今後はマゾ豚奴隷として精液便所としてご活用くださいませ
ビュルルル
復唱せよ


リサちゃん調教日記
は・・離せラップ
と・・父様はきっと分かって下さる
その時後悔するのはあなたですよ
リサまだ現実が理解できないのか？
お前はハンディ家から見限られたのだ
ラップ様の奉仕肉便器としての生涯が
決定したんだよ


あまり生意気なことを言うなら
クリチンポの感度を
千倍までひきあげてやろう
や・・やめてそれは
もういやだ
強制射精は
もういやらぁあああ


6時間後
あひ～ッ
射精しひゃうの～
リサのチンポから
ドビュドビュ
精液が勝手にれちゃう
あへへへ
これきもひいい
チンポ
ゴシュゴシュ
されるのしゃいこ～


Brain Hack
腐敗国家に抗う革命家の末路


ディセプス共和国
愛
平和
平等
を唱える我が国
この国は腐っている
パンッ
パンッ
パンッ
あはは
ラップ少将
レーネになにをしているのです？
外民が市民に奉仕するのは当然であろう
ギリ
ギリ
少将すぐにその不快な行為を止めて下さい
レーネは私の直属部隊員です
上官に意見するな！
少将


こんな外民など
どうでもいいわ
ドン
さすがは
氷壁のリサ
なにせ
あのハンディ家の
ご令嬢だ
少将も逆らえん
レーネ遅れて
すみませんでした
中佐
裏コード
入手しました
ありがとう
これでこの国を
改革できる
我が国は皆平等だ
ただし外からきた
外民彼らは10年という
奉仕期間を経て
ようやく市民権が
与えられる

だがこの国を腐らせる
要因はそれだけではない

ブレインコトロール

共和国市民は
産まれてすぐ
手術を受け

脳波チップを
脳に移植される

表向きは脳派を計測して
精神状態を国が見守っる
というお題目だが

秘匿された
おぞましい機能がある

裏コード

それを発動された時
強制的に神経や身体の機能を
乗っ取られるのだ

今その裏コードが私の手にある

私はこの腐敗した
国を改革する

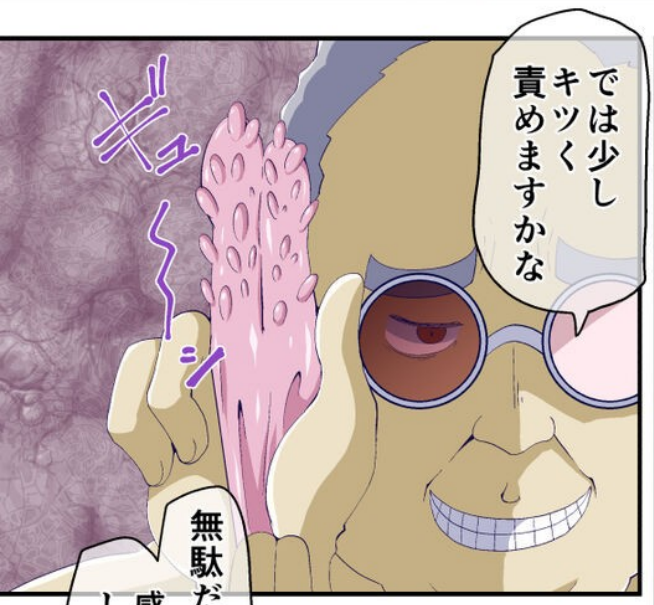

裏コードは手に入れた
私はこの国を変える
中佐！
これはどういうことですか？
リサ・セント・ハンディ
貴様が反乱分子だという密告があった
バカバカしい
ラップ少将ともあろう方がそんなデマを信じたのですか？
言い訳は尋問室でして頂こう


ドロォ
少将このバカげた行為になんの意味があるのですか？
無駄なことを
裏コードで感覚遮断したからな
私は何も感じない
中佐は不感症ですかな？
だが・・・こんな下種に弄ばれるのは不快だ
それは怖いですな
私への不当な扱い父が知ったら怒りますね


ですが中佐もいつまで国を欺けますかな？
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
なにせ今体に擦り込んでいるのは超強力媚薬
どうせ父様が怖くて私に傷の残るようなことはできまい
今頃私の直属部隊（レーネたち）が異変に気付き父様に報告している
お前は終わりだ
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
処女すら一晩で淫売にしてしまう
ズン!!
ズン!!
ズン!!


ギシ
ギシ
ギシ
不感症を気取っていても体は正直ですなぁ
マンコがグッショリですぞ


な・なんだ
妙な感覚が？
ドキン
ドキン
くちゅ
くちゅ


では少しキツく責めますかな
ズニュ～ン


無駄だ感覚遮断してるからな


驚きですね
少将にこんな変態趣味があったとは
父にはしっかり報告させて頂きます
ズブブ
ズブブ

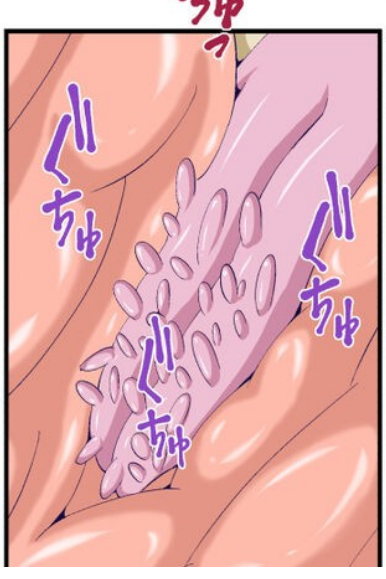

ビクン
おやおや不感症のはずが盛大に潮吹きですか？
中佐
ブシャッ


偶然だ


ぱちゅっ
ぱちゅっ


ぱちゅっ
ぱちゅっ
おかしい裏コードは発動しているのに体が反応する


ビクン
大丈夫だ


ぱちゅっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ


ひぐッ
しゅぼっ
しゅぼっ
中佐のかわいい悲鳴が聞けるとは 氷壁も溶けてきましたかな
わるふざけを！
この薬はクリトリス専用の特注品でね
やめろ！これ以上はハンディ家が貴様を許さんぞ
ロォオオ
おやおやさきほどまでの余裕がありませんな～
ドボ
ドボ
ドボ


こ・・こんな
ビクン
このようにクリを肥大化させるのです
貴様よくも私の体にこんなことを
人体改造など死刑も免れんぞ少将
即刻首を刎ねる
それは怖い
離せ
ガチャ
離さないか
ガシャ
薬の効果はまだまだここから
キュピーン


イヤ〜ん
ビクッ
ビクッ
ビクッ
やめろぉお
離せ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
死刑台
送りだぞ少将
肥大化したクリに
刺激を与えれば


この通り立派なクリチンポに育つのです
ビクッ
こんなバカげたことが
ズブッ
しかもこのクリチンポは
や・・やめろ
射精もできるのです
おぶぅううッ


中佐　国を私を欺こうなど甘いのですよ
少将！
ピシ
トロォ
本当に死刑に処されたいか！
ビクッ
なぜだ
なぜ
裏コードで防ぎきれない
感覚遮断してるのに
またイかされる
ビクッ
ビクッ
ビクッ


止めろおお
ビュビュ


この機械を止めないと
死刑だぞ少将

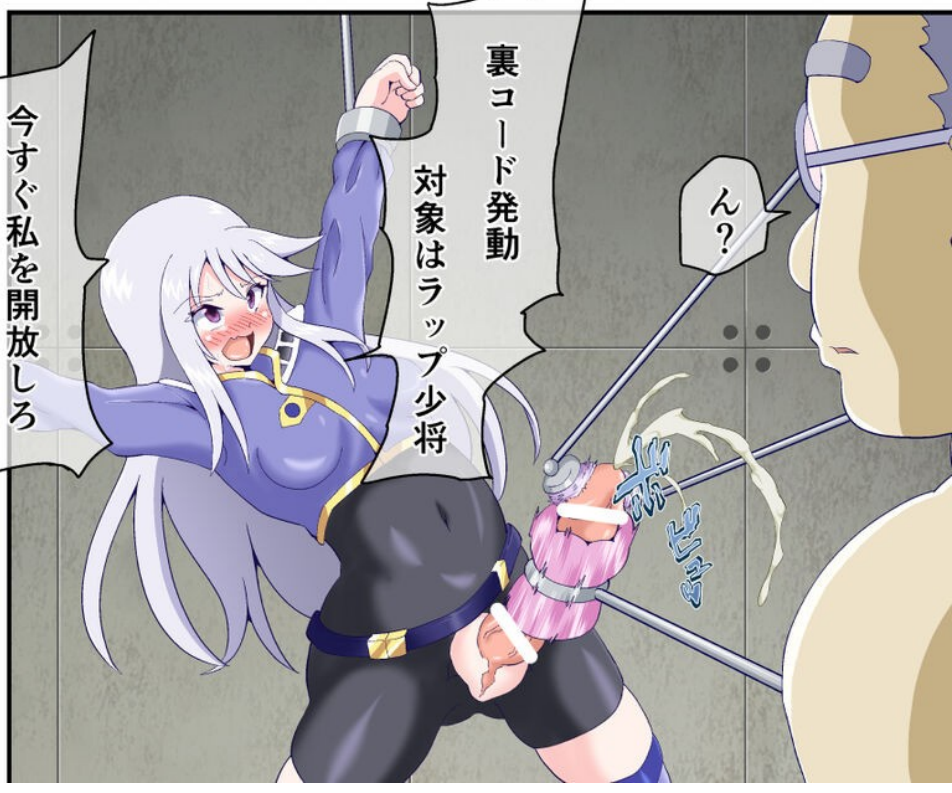

ビクッ
ビクッ
ビクッ


もう何百回
強制射精
させられたんだ
機械だから同じペースで
ずっと責め続けられる
私が壊れる
おぐ〜♥


失敗したら裏コードを
取得したことがバレる
絶対に成功させる
ガチャ
少将


こうなったら
少将の裏コードを掌握
するしかない


今すぐ私を開放しろ


裏コード発動
対象はラップ少将
ん？
ガチャ


やはり裏コードは本物だ
すぐにでもことを起こす
ようやく尻尾を出したな
なッ
ビクッ
トロ…
いっ…
貴様が偽の裏コードを使うまで本格的な尋問は上に止められていたのだよ
なにせハンディ家のご令嬢だからなだが反乱分子の証拠は揃った
裏コード起動
対象
ピカー
リサ・セント・ハンディ


リサ
貴様は反乱を企てたな
カメラの前で証言しろ
はい、裏コードを掌握して下民部隊と共に国の改革を目指しました
そんな口が勝手に喋る
逆らえない
ようやく認めたな
もう貴様は市民ではない
卑しいマゾ豚
もう容赦する必要はない！
まずは感覚遮断を完全に切る
ま・待って
なにもしてないのに絶頂してる
ビュルルルル…♡
ほおぉ♡


今までなんて比じゃない
体が燃えるように熱い
こんな状態でまた責められたら
私死ぬイき殺される
これは凄いなマゾ豚ザーメンの噴水だ


少将こんな
強要された自白が
認められると思うか
父上も私の部隊も
黙ってないぞ
ガシャ
ガシャ
ガシャ
ガシャ
射精しながら脅されても
様になりませんな
では射精しながらのふざけた
自白ではなく
自発的な自白をして頂こうか
真面目な尋問のためにも
一度そのふざけた
射精は止めて頂こう
ぴゅ
ビクッ
ビクッ
な・なにを
尿道に針を
ぶち込む
これで射精できんよ
やめ


くはあああ
じゅぽ
これでいくらクリチンポをしごかれても大好きな射精はムリだな
誰があんな行為を好むか
くっ・・・
そうですか？
あひぃいいッ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ズプッ
ズプッ


今度は自分の言葉で
反乱の企てを認めるのだ
もう一度
あのカメラに
向かって証言しろ
卑怯だぞ
こんな所だけ
映像を撮るなんて
あひッ♥
黙れ！
証言するまで
射精も絶頂もお預けだ
反乱分子に
人権などないのだよ
私のようにドブドブと射精
したくてたまらんだろう
ひぎぃッ


ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
認めれば思う存分射精させてやるぞ
う・うるひゃい
時間です電撃を流します
や・やめろ
ぬぽっ
ぬぽっ
あはぁ♡
びくーん
電撃はもうらめぇえええ


くはあああ〜
ビクッ
ビクッ
ビクッ
いくら耐えても助けなんてないぞ
カメラの前で認めるのだ
あきらめて自供しろリサ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
バチ
バチ
バチ
時間です電撃を流します
射精がしたいだろ？
クリチンポが破裂寸前で狂いそうだろ？
ビクッ


バチッ
最後のチャンスだ
イき死ぬまで
電撃は止めんぞ
もう無理だ
耐えられない
ビクッ
ビクッ
リサ・セント・ハンディは
国家反乱を企てていました
裏コードを掌握して
国家に立てつく傲慢な
計画を企てていました
これからは心を入れ替え
ラップ様の忠実な
国家奉仕肉便器として
生涯を捧げます
ビクッ
バチッ
ハンディ様
ご息女は
いかがしますか？
我が一族に
反逆者などいない
ガタ
ラップ少将
そのゴミは
そちらで
処分してくれ
だそうだ
リサ


そんな
父上が見ていた
父上！
私は国のことを
思って動いたのです
この国は
このままでは
リサもうお父上は
席を立たれたよ
くちゅ
くちゅ
まずは忠誠の
チンチンだ
約束だからな
針は抜いてやろう
反しもついていて
そんな体が勝手に動く
激痛だろうが
それもそのうち
快感になる
そんなのイヤだ
イヤ


ビクッ♡
イヤ!!
トロ…♡
ビクン♡
ビクン♡
リサお前には
散々煮え湯を
飲まされたからな
一カ月ほど躾をしてやる
私に逆らうと
どうなるかまずは
その脳に直接刻んでやる
裏コードなどなくても
わしのチンポを見れば
土下座して媚びへつらう
忠実なマゾ豚奴隷に
してくれるわ


一カ月後
中佐
早くゴールしてくださいよ
ゴールするまでチンポバンド外しませんよ～
射精させませんからね～
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
今日の輪姦の順番賭けてるんですから
リサラップ様への忠誠の証を復唱せよ
リサは生意気にもラップ様を怒らせ不快にさせました
ズコー
反省しています今後はマゾ豚奴隷として精液便所としてご活用くださいませ
はひぃ!


ゴ～ル
じゃあ
チンポの栓も
抜いてあげるね～
ま・待って
いきなりは
ダメぇえええ
ビクッ
ポロッ
まさかあの
氷壁のリサが
アホ面晒して
アクメしまくるとは
ビクッ
ビクッ
パンッ
パンッ
パンッ
リサは生意気にも
ラップ様を怒らせ
不快にさせました
反省しています今後は
マゾ豚奴隷として
精液便所として
ご活用くださいませ
ビュルルル
復唱せよ


リサちゃん調教日記
は・・離せラップ
と・・父様はきっと分かって下さる
その時後悔するのはあなたですよ
リサまだ現実が理解できないのか？
お前はハンディ家から見限られたのだ
ラップ様の奉仕肉便器としての生涯が
決定したんだよ


あまり生意気なことを言うなら
クリチンポの感度を
千倍までひきあげてやろう
や・・やめてそれは
もういやだ
強制射精は
もういやらぁあああ


6時間後
あひ～ッ
射精しひゃうの～
リサのチンポから
ドビュドビュ
精液が勝手にれちゃう
あへへへ
これきもひいい
チンポ
ゴシュゴシュ
されるのしゃいこ～











